

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

7月5日
毎月5日20日発行
第34号
購読料 1部 30円
半年 1,800円 (行掛)

叛旗

共産主義者同盟

発行人 川中 文
編集人 東 真
印刷所 東京 西 1-197
東京 丸の内 2-12F
大久保 1-10 久保
共 産 主 義 者 同 盟
電 報 掛 号 共 産 主 義 者 同 盟
T E L 0 3 - 3 6 2 - 0 1 4 9
郵 政 局 東 京 1 6 2 6 6

7.8 三里塚0-16闘争
弾圧粉碎集会
7.15 自衛隊沖繩派兵阻止
北熊本 横田現地闘争
7.25 首都圏 反帝戦線労働者集会

7-8 三里塚0-16闘争 弾圧粉碎集会

時・7月8日PM6時
所・代々木八幡区民会館
主催・1916闘争救援会
(小田急線代々木八幡駅下車8分)

発 言

三里塚 芝山空港建設反対同盟
……島 寛 征
三里塚 青年行動隊
反帝戦線三里塚現地闘争
三里塚 闘争 井藤 団
……菅 野 泰 吉
共産党 ……三 上 隆 夫

7.25 首都圏 反帝戦線労働者集会

時・7月25日火PM6時
所・渋谷区初台区民会館
主催・首都圏反帝戦線連合
(丸の内線初台下車5分)

7.25 労働者集会へ圧倒的結集を

帝国主義的労働再編を粉碎し 労働戦線の組織的強化を克ち取れ

労働者集会は、労働者の組織的強化を目的として、労働者階級の団結を促進し、労働戦線を組織的に強化することを目的とする。この集会は、労働者階級の団結を促進し、労働戦線を組織的に強化することを目的とする。この集会は、労働者階級の団結を促進し、労働戦線を組織的に強化することを目的とする。

現闘・獄中・救対の強固な陣型をもって 敵権力の報復弾圧を粉碎せよ

沖縄派兵を最前線で阻止せよ

北熊本現地(予飼橋左岸)横田(福生公園)

15日PM1時 15日PM3時

横田基地包囲闘争を打ち抜け
首都圏は北熊本に呼応し

7.15北熊本現地へ総結集を

自衛隊沖繩派兵阻止
反帝戦線総決起集会

七月十四日 三時
於 九六

一切の敵対許さず5.22集会貫徹 本格的拠点闘争の開始へ

西部地区反帝戦線・東大C班

自衛隊沖繩派兵阻止
反帝戦線総決起集会

七月十四日 三時
於 九六

情勢の新局面と社会運動の諸問題

共産主義青年同盟 政治部

（上）

情勢の新局面と社会運動の諸問題

（1）くつがの整理と問題提起

この情勢の新局面は、戦時体制の完成と、社会運動の激化とを同時に意味する。戦時体制の完成は、国家の総動員体制の確立を意味し、社会運動の激化は、労働者階級の政治的覚醒を意味する。この二つの潮流は、互いに相反するものであるが、同時に進行している。この状況を整理し、社会運動の諸問題を提起する必要がある。

（2）学生戦線の現段階

学生戦線の現段階は、戦時体制の完成と、学生運動の激化とを同時に意味する。戦時体制の完成は、国家の総動員体制の確立を意味し、学生運動の激化は、学生階級の政治的覚醒を意味する。この二つの潮流は、互いに相反するものであるが、同時に進行している。この状況を整理し、学生運動の諸問題を提起する必要がある。

学生処分撤回報告 十一年六

学生処分撤回報告 十一年六

当局一政治警察の一体化した主体一組織に抵抗し 処分撤回へ泥沼的戦闘を持続

当局一政治警察の一体化した主体一組織に抵抗し 処分撤回へ泥沼的戦闘を持続

南部地区反帝戦線青年大組

南部地区反帝戦線青年大組

三十三歳 戦闘の指示向線

戦闘の指示向線

着旗の叛旗

着旗の叛旗

焔への確執

焔への確執

共産同政治論文集 I

くつがの越境

発売中 700円

吉本隆明講演集

根底への出立に向けて

発売元：吉本隆明講演集刊行委員会

共産同主催

5・13 沖繩討論集特集号

発行：共産主義青年同盟 叛旗編輯部